

特集

英吉利法律学校と講義録

—創立期中央大学の通信教育—



上 英吉利法律学校校外生之證 (1889年10月)
左 英吉利法律講義録 第1年級第1号 (1886年9月)
右 英吉利法律学校規則 (1887年3月改定)
(いずれも中央大学広報室大学史資料課所蔵)

CONTENTS

- 特集 英吉利法律学校と講義録 —創立期中央大学の通信教育— 広報室大学史資料課
- 図書館を活用した英語学習 —多読のすすめ— 法学部教授 三好みゆき
- 学部長、オススメの一冊
- 第9回インターナショナル・ウィーク 国際機関に関する2つの企画展示を開催
- 新収資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録 (2017.5～2017.7 収集分)

イギリス
英吉利法律学校と講義録
—創立期中央大学の通信教育—

広報室大学史資料課

中央大学が創立当時から約35年にわたって通信教育を行っていたことをご存知でしょうか。今回はその通信教育と教科書（講義録）についてご紹介します。

英吉利法律学校創立と通信教育

中央大学は1885（明治18）年に英吉利法律学校として誕生しました。誕生と同時に通学課程に加えて校外生制度（通信教育課程）を設置しています。

英吉利法律学校は、18人の若き法律家によって設立されます。増島六一郎（代言人＝弁護士）、穂積陳重（法学者）、奥田義人（官僚）などの実務家や学者で、多彩な顔ぶれでした。

彼らは、自ら欧米の先進国の法律わけても英米法を学び、日本の近代化を担う人材を養成しようとします。

当時は、江戸幕府が幕末に欧米諸国と締結した不平等な通商条約（領事裁判権の承認、関税自主権の放棄）を改正しようとする時代でした。また、日本社会の実情に即した法制度をつくらうとしていた時期にもあたります。

開校の目的を「邦語ニテ英吉利法律学ヲ教授シ其実地応用ノ習練セシムルニアリ」（『英吉利法律学校設置願』）とし、それは建学の精神「実地応用ノ素ヲ養フ」につながるものとなります。

人材育成には通学課程も必要ですが、地理的に、あるいは、経済的に通学のできない人々には「校外生」制度という受け皿を作り通信教育を実施しました。

1885年7月30日付『郵便報知新聞附録』に「英吉利法律学校設置広告」を出します。学校設置の目的として、（1）英米法律全科を教授する、（2）書籍を著述する、（3）法律書庫を設立するの3点を掲げ、校外生制度について「遠隔ノ地方ニ在リ又ハ業務ノ為メ參校シ親シク講義ヲ聴ク能ハサル者」に、「講義ノ筆記ヲ印刷シテ之ヲ頒チ」、「卒業証書ヲ受ケント欲スル者ハ望ニ依リ試験ノ上之ヲ授与スヘシ」としています。遠隔の地にいても、現実の講義と講義録が連動して、教室での講義を文字として学習することが可能となり、通学生と同じ資格におい

て試験のうえ卒業証書を受ける道が用意されています。1888（明治21）年7月改定の英吉利法律学校規則には、その試験は本校において行なうとしています。地方での試験は行なっていません。

諸学校の通信教育

英吉利法律学校は1885（明治18）年10月から講義録を配布します。そのころ、他の諸学校でも講義録を使った通信教育を開始しています。1885年11月には和仏法律学校（現在の法政大学）が、1886年には東京専門学校（現在の早稲田大学）が、1887年には専修学校（現在の専修大学）、明治法律学校（現在の明治大学）、哲学館（現在の東洋大学）、関西法律学校（現在の関西大学）が、1890年には日本法律学校（現在の日本大学）がそれぞれ通信教育を開始します。

なお、通信教育は明治義塾法律学校（1881年創立）が1884年ころ日本で初めて開始したとされています。しかし、その翌年1885年に廃校となりました。したがって、事実上、英吉利法律学校が最初の通信教育を行なったといっても間違いではないでしょう。

講義録の仕組み

講義録は毎週、校外生あて郵送されました。各号には数科目の講義が収録されます。各号はおおむね90ページで編集されています。校外生は、講義録が配布されると、科目ごとに切断して、次号以降同じ科目が配布されると一緒に綴じて講義録を作ってゆきます。実際の講義録をもとに説明しましょう。

第1図は第1年級講義録第1号（1886年9月）の「目次」、第2図は「契約法」の1ページ目、第3図は26ページです。契約法は目次の2つ目にあります。実際には、第1号講義録の11ページ目から始まっています。ページの右側に小さな字で「十一」と印刷されています。これは第1号講義録の通しページを意味しています。左側には「一」と印刷されています。この「一」は契約法の講義の通しページの1ページ目を表しています。

のようなこともありました。東京法学院と名称を変更した10年後の東京法学院講義録明治32年度第1年級第30号には「明治32年度在院生学年試験問題」を掲載しています。在院生（通学生）の試験問題を在外生（校外生）の試験への参考として掲載したものと推測します。

なお、校外生用に教科書として作った講義録は、通学生にも販売しました。1887（明治20）年3月改定の『英吉利法律学校規則』には通学生の特権のひとつとして講義録を実価（実費）で入手できるとあります。

校外生数の推移

1885年に始まった校外生制度は社会にどのように受け容れられたのでしょうか。そのことを校外生の在籍者数でみてみましょう。通学生数も併せてみると当時の校外生がいかに多かったかがわかります。開校時の校外生約420人（通学生97人）、2年目の1887年10月には約1,700人（同約670人）、1888年2月には約3,000人（同約1,500人）、1889年2月には約3,100人（同約1,700人）と拡大を続けました。その後減少があり1900年には約2,000人（同約900人）が在学していました。

学校の地位向上と校外生制度

諸学校は、官吏となるための需要に応えるため「特別認可学校」の資格を取得する努力をします。英吉利法律学校は1888（明治21）年にその資格を取得し、卒業生は任用試験で有利な地位を得ます。文官高等試験（現在の国家公務員採用総合職試験や司法試験に相当）の受験資格を得たのです。

同年、独協学協会学校（現在の独協大学）、東京専門学校（現在の早稲田大学）、東京仏学校、東京法学校（両校は合併し現在の法政大学）、専修学校（現在の専修大学）、

明治法律学校（現在の明治大学）も「特別認可学校」の指定を受けます。

「特別認可学校」となった1888年7月改定の『英吉利法律学校規則』には特別認可生規則と普通規則を収録しています。ここに至って、特別認可生規則に基づく卒業と、普通規則による卒業との2種類が生まれます。校外生は普通規則による修学でしたから、官吏の任用試験での優遇を受けることはできませんでした。

校外生制度のその後

英吉利法律学校は、国内法の整備に伴い、1889（明治22）年10月に東京法学院と名称を変更し、その後東京法学院大学を経て、1905（明治38）年に中央大学となります。

英吉利法律学校のもとで校外生制度として発足した通信教育は、東京法学院大学時代には専門部（通学課程）への編入制度を設けます。また中央大学時代には新設した経済科にも在外員（在校生から名称変更）制度を設けます。その後中央大学が大学令に基づく「中央大学」となる1920（大正9）年に35年にわたった通信教育を閉じます。

諸学校は講義録を使った通信教育をこのころ廃止します。通学課程の需要が増えてゆくなかで通信教育は廃れて行くことになりました。1903（明治36）年の「専門学校令」によって東京法学院大学を含む諸学校は専門学校に再編され、専門教育の体系化が行われました。専門的知識と啓蒙的知識とが分化し、講義録の需要が急速に減っていったと指摘されています。

中央大学はその後、1948（昭和23）年に28年ぶりに「中央大学通信教育部」として法学部に通信教育を復活させ、現在に至っています。

参考資料

- 1) 菅原彬州「中央大学における戦前の通信教育」（『中央大学史紀要』第2号，p.1-119，中央大学百年史編集委員会専門委員会，1990年）〔中央書庫 Z37/C50〕
- 2) 天野郁夫「第1章 大学講義録の世界（第一部 講義録の世界，近代化過程における遠隔教育の初期的形態に関する研究）」（『研究報告』第67号，p.8-37，放送教育開発センター，1994年）
- 3) 山崎利男『英吉利法律学校覚書：明治前期のイギリス法教育』（中央大学出版部，2010年）〔中央書庫・開架 320.7/Y48〕

図書館では、この特集にあわせて

第27回中央図書館企画展示：

英吉利法律学校と講義録

—創立期中央大学の歴史資料—

を開催します。この機会にぜひご覧ください。

期間：2018年3月24日（土）～5月2日（水）

場所：中央図書館2階展示コーナー

ウェブサイトでの公開資料

「中央大学の歴史」のページで以下の資料を公開しています。

<http://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/history/>

- 1) 英吉利法律講義録（第1年級）（1886年 - 1887年）
- 2) 開学当初から旧制時代の学則、規則類
- 3) タイムトラベル中大 125



図書館を活用した英語学習

—多読のすすめ—

三好 みゆき (法学部教授)



図書館にはレファレンスルームの辞書類以外にも英語の勉強に役立つ資料が揃っていることをご存じですか。書架に並ぶ洋書・洋雑誌は難しそうで、上級生になるまで自分には縁がないと思う人もいるかもしれません。ところが図書館には1・2年生のうちから——しかも英語が得意でない人も——すぐ活用できて、楽しく英語を勉強できる本が用意されています。それは使われる語彙や文法事項が段階別に制限された "graded readers" という英語学習者向けの読み物です。

英語の上達には「読む、書く、聞く、話す」という4技能をバランスよく鍛える必要があります。流暢に話すことに憧れるあまり、読むことを侮っている人がいるかもしれませんが、実は「読む」こと（言葉のインプット）は「聞く、書く、話す」力の土台です。そして読む力をつけるには「精読」と「多読」の二つの読み方をしっかり練習するのが望ましいと思います。「精読」は細部まで注意を払い、辞書を丹念に調べて、文章を正確に理解しようとする（そして理解を確認するために日本語に訳す）読み方ですが、読める分量が限られてしまいますので、細かいことは気にせずたくさん読んで英語をたっぷり吸収する「多読」も大切なのです。多読は自分一人で好きな時間にできますが、本選びに迷います。難しすぎる本に挑戦して、延々と霧の中を彷徨っているような辛く情けない思いを私もたびたび経験しましたが、"graded readers" なら1冊の英語の本を読み切ったという達成感をレベルに合わせて手軽に味わうことができます。たくさん読むうちに、あやふやに記憶していた語彙や文法の知識が定着し、英語表現が自然と身につく、英語を英語として理解する感じを体得し、また読書の楽しさを英語で体験することもあるでしょう。

日頃の授業では精読に徹している私ですが、"graded readers" を使った多読の課題を出すときにはこうアドバイスをします。①「よくわからなくてもいい、粗筋だけでもわかればいい」と開き直る、②読んでいる途中では辞書を引かない（文脈から推測）、③日本語に訳さない、そして④よくわからなかったら通読したあと最初からもう一度読むとよくわかる、⑤翻訳や映画があればあらかじめ読んで見たりするのもよい、と。授業とは関係なく自分で多読に挑戦してみるなら、⑥易しめのレベルから始め、⑦興味のある分野の本を選び、そして⑧読んでみて難易度や内容があわず辛くなったら無理せず別の本に替えてよいでしょう。

図書館の多読教材を活用しておおいに英語を読んで読解力がついてきたら、ぜひ本格的な洋書・洋雑誌や英字新聞にも挑戦してもらいたいと思います。

タイプ別 おすすめ多読図書

多読図書を読みたい、でも何を読めばいいかわからない方へ Penguin readers(開架・理開 428.6/P39)の中から、タイプ別のおすすめを紹介します！



映画が好きなあなたへ

Murder on the orient express / Agatha Christie



恋愛小説が好き、古典の名著を読みたいあなたへ

Romeo and Juliet / William Shakespeare



音楽が好き、ノンフィクションが好きあなたへ

The Beatles / Paul Shipton

この他にも様々なジャンルの本があるので、コーナーに足を運んでみましょう！

英語多読図書
コーナー

中央図書館・理工学部分館



英語多読図書コーナーは **中央図書館 4階**、**理工学部分館 5階**にあります。

様々なシリーズの多読図書を揃えているのでぜひ足を運んでみましょう！

また、学外からも利用できる電子ブックがあります。詳細は図書館 HP をご覧ください。

学部長、オススの一冊

学部長の先生方に、学生時代に感銘を受けた本、
今皆さんに読んでもらいたい本のなかから「この一冊」を選んでいただきました。
中央図書館 2 階で展示します。



法学部長 星野 智 教授

世界の共同主観的存在構造

廣松渉著
岩波書店 2017 (岩波文庫)

所蔵 中央小型 115/H71
開架文庫 岩波文庫 / 青-N-122-1
※単行本 (勁草書房 1972) も所蔵



オス
ス

私たちは日常世界において所与のあるものを「イヌ」として、「ネコ」として、すなわち「在るもの以上の何か」として認識しており、この認識の仕方が共同主観化されているがゆえに、すべての人びとが相互に意思疎通できるのである。法やモラルや習慣も同様で、このような共同主観的な存在構造をもっている。本書は、私たちが世界をどのように認識しているのか、という基本的な問いかけに対して、1つの回答を与えてくれた著作である。



経済学部長 篠原 正博 教授

菜根譚

洪自誠著；神子侃，吉田豊訳
徳間書店 1965

所蔵 開架 159 / Ko11



オス
ス

私が大学生の時に、とある先輩からプレゼントされた本であり、表紙裏には「篠原君の人間の成長を願って」と記されてあった。

当時は中国の古典に興味がなく、時々パラパラとめくる程度であったが、人生経験を積むにつれ、含蓄ある内容に惹かれるようになった。読むと、はっとさせられ恥ずかしい思いをすることが多い。人はどう生きるべきであるかを考えさせられる本である。



商学部長 渡辺 岳夫 教授

悲しみの歌 改版

遠藤周作著
新潮社 2003 (新潮文庫)

所蔵 開架文庫 新潮文庫 / え-1-14



オス
ス

人は弱い。そして時に悲しく、ずるい。そんな人の世のなかでも、暗い片隅で地べたに這いつくばるように健気に生きる人たちがいる。その姿は胸をうち、それでもやはり生きていこうと思わせてくれる。『海と毒薬』の続編にあたる。前編に比べて知名度は低い、それよりもずっと奥が深い。学生時代には是非読んでもらいたい本の一冊である。



理工学部長 榎山 和男 教授

新しき糧 改版

アンドレ・ジッド著；堀口大学訳
新潮社 1968 (新潮文庫)

所蔵 中央小型 954/G42
開架文庫 新潮文庫 / シ-2



オス
スメ

大学入学時にこの本を読んだことで、それまでの物事に対する考え方や取り組みの姿勢を改めることができ、その後の人生を変えてくれた書です。全4巻（それぞれは短編）からなり、特に第3巻は著者自身の体験に基づく若者への人生に対するアドバイス（精神的遺書）と位置づけられており、お薦めの部分です。絶版ですが、図書館に所蔵していますので一読をお薦めします。

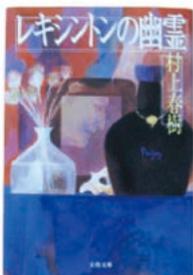


文学部長 宇佐美 毅 教授

沈黙

村上春樹著
『レキシントンの幽霊』
文藝春秋 1999 (文春文庫) 所収

所蔵 開架 913.6/Mu43
※単行本 (文藝春秋 1996) も所蔵
※『村上春樹全作品 1979～1989』
第5巻短篇集Ⅱ (講談社 1991) にも収録有り



オス
スメ

高校の集団読書テキストになっていて、既読の学生諸君も多いはず。過去の出来事とそれを回想する現在の重層性、当事者の話とそれを聞き書きする語り手、人間の心の底に潜む悪意など、村上春樹らしさが随所にあらわれている。同時に、いじめの構造と根深さを描いていて、多くのことを考えさせる作品。かつての『ころ』や『羅生門』のような役割を果たし、読む者に深く考える契機を与えてくれる。



総合政策学部長 堤 和通 教授

レ・ミゼラブル 改版 全4巻

ユーゴー作；豊島与志雄訳
岩波書店 1987 (岩波文庫)

所蔵 中央小型 953/H98
開架文庫 岩波文庫 / 赤-531-1～4



オス
スメ

名著として名高い小説で、映画化もされ、中高生向けの書籍もあり、また長編ながら、時間が作れるこの時期に本作を読んでみてはどうだろう。フランス革命から19世紀半ばに至る激動の時代を舞台に、それを生きた作者が描く物語は、ストーリーの展開に合わせ、刑罰や司法制度の詳細についての解説があり、罪とは何か、罰とは何か、世俗国家の力と人間の情愛や信仰の力はどのような働きをするのか、という問いに引き合わせてくれる。

第9回インターナショナル・ウィーク

国際機関に関する2つの企画展示を開催

恒例の全学行事「インターナショナル・ウィーク」の開催に伴い、2017年11月22日（水）から約1ヵ月間、中央図書館では2つの企画展示を実施しました。第9回のテーマは「国際機関」。人道支援や食糧支援など国際協力を任務とする2つの国際機関——ユニセフとして知られる国連児童基金（United Nations Children's Fund, UNICEF）と国連世界食糧計画（United Nations World Food Programme, WFP）——を中心にさまざまな資料が展示されました。2つの展示は、「こどもたちのための～」という共通のタイトルで架橋され、紛争や災害で困難な状況にある子どもたちのために活動する国際機関をとりあげるとともに、ポスターや児童書など未来を担う子どもたちへのメッセージを特集するものとなりました。

1階展示ホールでは「こどもたちのための国連パネル展—WFP・ユニセフのパネル&ポスターより」を開催。林光洋経済学部教授より開催のご挨拶文を頂き、国連WFP協会や日本ユニセフ協会の資料提供による大型パネル、ポスターシリーズをはじめ、国際機関職員・親善大使へのインタビュー記事、リーフレットなど46点を展示しました。国際協力によって初めて守られ育まれる命があるという厳しい現実とともに、国際機関の活動や国際協力に携わる人々の声に焦点を当て、来館者の目を惹きました。展示ケースではユニセフカードなどの支援グッズとあわせて、国連WFPの「レッドカップキャンペーン」をとりあげました。実際に支援の現場で使われたレッドカップのほかキャンペーン協賛商品がずらりと並び、展示を訪れた方々へ支援に関わるきっかけとして紹介されました。

2階展示コーナーでは「こどもたちのための『国連の本』展—ユニセフの資料を中心に」と題して、国際機関資料室所蔵のユニセフ資料や国連の専門機関が制作した児童書・青少年向け資料を中心に84点を展示しました。『世界子供白書』や年次報告、パンフレットといったユニセフ公式資料に加えて、絵本、ワークブック、漫画など子ども向けの読み物が展示に華を添えます。このほか写真集、エッセイ、学習ガイド、国際機関で働く人々の体験記など多彩な蔵書資料も含め、国際機関の活動を多角的な視点からひもとく展示となりました。両展示は好評を得、2階展示コーナーでは、12月8日（金）までの会期を16日（土）まで延長しました。

12月5日（火）、経済学部・林光洋ゼミ主催の「UNICEF スペシャルセミナー2017」開催の折には、日本ユニセフ協会より高円承子氏が中央図書館を来訪。図書館職員の案内の下、2つの展示と国際機関資料室を見学されました。



新収資料紹介

教職員著作目録 2017.5 - 2017.7 配架図書一覧 ()は所属学部等

著者名	書名	出版社	出版年月	配架場所	請求記号
浅野 孝夫 (理)	著 グラフ・ネットワークアルゴリズムの基礎 (数理とCプログラム)	近代科学社	2017.4	理開/理開指定	007.64/A87
余 華 飯塚 容 (文)	著訳 世事は煙の如し：中短篇傑作選	岩波書店	2017.6	開架/中国言語	923/Y72
井田 良 (法)ほか	編 山中敬一先生古稀祝賀論文集 上・下巻	成文堂	2017.4	中央書庫/ 市ヶ谷法務	326/118
鈴木 孝之、河谷 清文 (法務)	著 事例で学ぶ独占禁止法	有斐閣	2017.5	中央書庫/開架	335.57/Su96
滝田 賢治 (名)、大芝 亮、都留 康子 任 君三ほか	編 国際関係学：地球社会を理解するために	有信堂高文社	2017.4	中央書庫/開架	319/Ta73
ヤコブ・フォッセスタイン 谷下 雅義 (理)	著 編訳 オランダ：水に囲まれた暮らし (中央大学学術図書 93)	中央大学出版部	2017.5	中央書庫/理開	293.59/V93
服部 龍二 (総)	著 幣原喜重郎：外交と民主主義 増補版	吉田書店	2017.4	中央書庫/開架	319.1/H44
大学基準協会高等教育のあり方研究会、生和秀敬 早田 幸政 (理)	編著 執筆 大学評価の体系化 (JUAA選書 15)	東信堂	2016.10	中央書庫/ 市ヶ谷法務	377.11/D16

* (法)：法学部、(経)：経済学部、(商)：商学部、(文)：文学部、(総)：総合政策学部、(理)：理工学部、(法務)：法務研究科、(会計)：国際会計研究科、(戦略)：戦略経営研究科、(研)：研究開発機構教授、(名)：名誉教授
* 配架場所は2ヶ所までとした